



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月1日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東
コード番号 4310 URL <https://www.dreamincubator.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 孝之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上村 敏弘 TEL 03(5532)3200
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,785	△86.9	△1,089	—	△1,117	—	△1,038	—
2023年3月期第3四半期	28,993	11.0	1,952	—	2,002	679.8	1,453	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △1,100百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 1,702百万円 (401.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△112.34	—
2023年3月期第3四半期	148.97	148.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,236	16,106	86.3
2023年3月期	31,310	21,917	68.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,744百万円 2023年3月期 21,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	191.11	191.11
2024年3月期	0.00	0.00	0.00		
2024年3月期（予想）				128.00	128.00

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 : 特別配当 191円11銭

直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期（予想）期末配当金の内訳 : 特別配当 128円00銭

期末の配当につきましては、2023年12月12日に開示しました「配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループのセグメントは、ビジネスプロデュース及びベンチャー投資から構成されております。ビジネスプロデュースは比較的将来の予測が立ちやすい一方、ベンチャー投資につきましては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,465,100株	2023年3月期	10,465,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,705,932株	2023年3月期	700,977株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,246,012株	2023年3月期3Q	9,757,768株

（注）当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 営業の状況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(報告セグメントの変更等について)

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴い「ペットライフスタイルセグメント」を廃止し、報告セグメントを「ビジネスプロデュースセグメント」と「ベンチャー投資セグメント」の2つとしております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

(1) 経営成績に関する説明

当社及び当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は3,785百万円(前年同四半期比86.9%減)、経常損失は1,117百万円(前年同四半期は経常利益2,002百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,038百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,453百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ビジネスプロデュースセグメント)

ビジネスプロデュースセグメントでは、主に大企業向けの事業創造支援や成長戦略立案支援に関する戦略コンサルティング、M&Aファイナンシャル・アドバイザーの提供、及び社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みであるソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用したファンド運営をしております。また、クライアントへの提供価値の更なる向上を目指して、新プラクティスであるTechnology & Amplifyを本格始動しております。

クライアントの事業創造ニーズの高まりに加え、積極的なマーケティング活動に取り組んだ結果、新規プロジェクトの受注高は当第2四半期連結会計期間に引き続き伸長しております。一方で、新プラクティスの立ち上げなどの業容拡大に対応するため採用を積極化したことにより人件費等も増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,451百万円(前年同四半期は2,700百万円)、セグメント利益(営業利益)は493百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)942百万円)となりました。

(ベンチャー投資セグメント)

ベンチャー投資セグメントにおいては、スタートアップ企業等への投資育成を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、トレードセールによるキャピタルゲイン等を実現した一方で、投資先9社の価値下落に伴い減損831百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は334百万円(前年同四半期は1,914百万円)、セグメント損失(営業損失)は904百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)861百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

連結貸借対照表

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の31,310百万円に対して13,073百万円減少し、18,236百万円となりました。これは主として、配当金の支出や税金の支払により現金及び預金や有価証券(合同運用指定金銭信託)が減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の9,393百万円に対して7,262百万円減少し、2,130百万円となりました。これは主として、税金の支払により未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末の21,917百万円に対して5,811百万円減少し、16,106百万円となりました。これは主として、配当金の支出による利益剰余金の減少や自己株式の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(ビジネスプロデュースセグメント)

ビジネスプロデュースセグメントにおいては、事業創造へのニーズが旺盛であることに加え、クライアントへの提供価値の更なる向上を目指した新プラクティスであるTechnology & Amplifyの立ち上がりも着実に進捗しております。以上の結果、当連結会計年度の売上高は中期経営計画(2023年3月期~2025年3月期)の4,800百万円に対し、5,000百万円程度となる見込みです。費用面では、将来の飛躍に向けて優秀な人材を前倒しで確保すべく積極採用を継続しており、人件費・採用費等が増加しているため足下は減益の状況ですが、安定成長収益基盤の確立に向け邁進してまいります。なお、計画の詳細については決算説明資料もあわせてご参照ください。

(ベンチャー投資セグメント)

ベンチャー投資セグメントにおいては、業績が株式市況等に伴い振幅することから、見通しは立てにくい状況が続くものと考えております。特に、インド投資先については、資金調達環境の冷え込みの更なる長期化により、第4四

半期も減損の可能性があります。なお、ベンチャー投資は簿価を上回る含み益を抱えており、中期経営計画にて掲げた縮小方針に基づき、引き続き適切なタイミングでの売却を進めてまいります。

(4) 営業の状況

(生産実績)

当社及び当社グループは生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(受注実績)

当第3四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりです。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビジネスプロデュース	3,492	72.8
合計	3,492	72.8

- (注) 1 ベンチャー投資には受注という概念がございませんので、ベンチャー投資セグメントの受注実績は記載しておりません。
- 2 第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴いペットライフスタイルセグメントを廃止したため、当該セグメントについては記載に含めておりません。

(販売実績)

当第3四半期連結累計期間における販売実績は次のとおりです。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビジネスプロデュース	3,451	27.8
ベンチャー投資	334	△82.5
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
合計	3,785	△18.0

- (注) 第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴いペットライフスタイルセグメントを廃止したため、当該セグメントについては記載に含めておりません。

(投資実績)

証券種類	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金等	274	8	4,960	53	50	4	3,928	52
新株予約権等	—	—	—	4	—	—	—	3
合計	274	8	4,960	55	50	4	3,928	54

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 市場価格のない株式等以外のものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
98百万円	95百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,397	6,420
受取手形、売掛金及び契約資産	1,074	1,228
営業投資有価証券	5,463	4,503
有価証券	13,800	5,300
投資損失引当金	△103	△103
その他	191	400
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	30,800	17,725
固定資産		
有形固定資産	249	258
無形固定資産		
その他	8	6
無形固定資産合計	8	6
投資その他の資産		
投資有価証券	65	65
繰延税金資産	29	27
その他	158	152
投資その他の資産合計	252	245
固定資産合計	510	511
資産合計	31,310	18,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3	—
1年内返済予定の長期借入金	50	—
未払法人税等	6,158	54
株主優待引当金	19	—
賞与引当金	1	1
役員賞与引当金	240	—
その他	1,856	798
流動負債合計	8,328	853
固定負債		
繰延税金負債	124	220
株式給付引当金	939	1,055
その他	0	0
固定負債合計	1,064	1,277
負債合計	9,393	2,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,019	5,019
資本剰余金	4,548	4,548
利益剰余金	12,648	9,609
自己株式	△1,366	△4,155
株主資本合計	20,850	15,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630	747
為替換算調整勘定	△39	△25
その他の包括利益累計額合計	590	721
非支配株主持分	475	362
純資産合計	21,917	16,106
負債純資産合計	31,310	18,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	28,993	3,785
売上原価	15,999	3,108
売上総利益	12,993	676
販売費及び一般管理費	11,041	1,766
営業利益又は営業損失(△)	1,952	△1,089
営業外収益		
受取利息	14	15
固定資産売却益	30	—
為替差益	9	—
その他	11	4
営業外収益合計	67	20
営業外費用		
支払利息	8	0
支払手数料	1	36
為替差損	—	10
固定資産除却損	4	0
その他	2	0
営業外費用合計	17	47
経常利益又は経常損失(△)	2,002	△1,117
特別利益		
関係会社株式売却益	546	—
特別利益合計	546	—
特別損失		
公開買付関連費用	177	—
特別損失合計	177	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,371	△1,117
法人税、住民税及び事業税	899	39
法人税等調整額	△191	75
法人税等合計	707	114
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,664	△1,231
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	210	△193
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,453	△1,038

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,664	△1,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	117
為替換算調整勘定	12	14
その他の包括利益合計	38	131
四半期包括利益	1,702	△1,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,529	△907
非支配株主に係る四半期包括利益	172	△192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,005,200株の取得を行っております。この取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,790百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース	ベンチャー投資	ペット ライフスタイル	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,700	1,914	24,378	28,993	28,993	—	28,993
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,700	1,914	24,378	28,993	28,993	—	28,993
セグメント利益	942	861	845	2,650	2,650	△697	1,952

(注) 1 セグメント利益の調整額△697百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース	ベンチャー投資	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,451	334	3,785	3,785	—	3,785
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,451	334	3,785	3,785	—	3,785
セグメント利益又は損失 (△)	493	△904	△411	△411	△678	△1,089

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△678百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度にアイペットホールディングス株式会社株式を売却したことに伴い「ペットライフスタイルセグメント」を廃止し、報告セグメントを「ビジネスプロデュースセグメント」と「ベンチャー投資セグメント」の2つとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更前の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。